

## 再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：鈴木 克宗

<b>事業名</b> 一般国道440号 地芳道路 <small>じよしどうろ</small>	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 国土交通省 四国地方整備局
<b>起終点</b> 自：愛媛県上浮穴郡久万高原町西谷 <small>えひめけんかみうけなくんくまこうげんちやうにしに</small> 至：高知県高岡郡梶原町下本村 <small>こうちけんたかおかぐんすはらちやうしもほんむら</small>	<b>延長</b> 8.9km	
<b>事業概要</b> 一般国道440号は愛媛県松山市を起点とし、四国山地を通過して高知県梶原町に至る延長約97kmの路線で、四国西南地域と松山市や高知市を結ぶ幹線道路としての役割を担っている。しかし、四国山地の急峻な山岳地帯を通過していることから、幅員は狭小で、急カーブ、急勾配の区間が多く、冬季には積雪、凍結により度々通行止めとなるなど、幹線道路としての機能を果たしていない状況にある。地芳道路は、これらの通行障害を解消し、当該地域の主要幹線道路である一般国道33号の代替路線としての機能の確保、県境を越えた地域間交流及び地域連携の支援、中山間地の救急医療体制の強化等を支援するものである。		
H2年度事業化	都市計画決定なし	H4年度高知県側用地着手 H7年度愛媛県側用地着手
H4年度高知県側工事着手		H10年度愛媛県側工事着手
<b>全体事業費</b>	約313億円	<b>事業進捗率</b> 69%
<b>計画交通量</b>	1,200台/日	<b>供用済延長</b> 0.3km
<b>費用対効果分析結果</b>	<b>B/C</b> (事業全体) 1.1 (残事業) 4.0	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 97/336億円 (事業費：89/328億円) (維持管理費：8/8億円)
<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 385/385億円 (走行時間短縮便益：354/354億円) (走行費用減少便益：27/27億円) (交通事故減少便益：4/4億円)		<b>基準年</b> 平成16年
<b>事業の効果等</b> ・円滑なモビリティの確保（線形不良の解消及び走行距離の大幅な短縮により所要時間が約34分短縮） ・災害への備え（通行規制区間の解消及び防災点検要対策箇所の回避により沿線の集落の孤立化が解消） 他11項目に該当		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> ・周辺の自治体などから積極的な事業促進要望あり		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> ・平成14年9月 伊野IC～須崎東IC間供用開始		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> ・現在までに延長0.3kmが完成供用されている。工事はトンネル部では愛媛県側を掘削中であり、平成18年度に供用予定である。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> ・トンネル掘削中に突発湧水が発生したため、施工は困難を極めたが、調査坑による先進調査及び新技術を導入することで高圧湧水に対処しながら順次掘削を進めている。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> ・調査坑を歩道に使用し、本坑の掘削断面を縮小することでコスト縮減を図っている。		
<b>対応方針</b>	事業継続	
<b>対応方針決定の理由</b>	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。	
<b>事業概要図</b>		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。